



11月3日(日)・4日(月・振)の2日間



スタキャン
in
Autumn

ふくしまの環境を考える コミュタン福島 スタディキャンパス2024 in Autumn を開催!

3日はココリコ 田中直樹さん、気象予報士 齋藤恭紀さんなどをお迎えした「第8回福島県環境創造シンポジウム」、4日は当センターが取り組んでいる研究などについて、普段は入ることができない本館・研究棟に潜入し、そこで働く研究員などと対話をしながら、楽しく学べる「オープンキャンパス」、ホールでは五十嵐美樹さんの「サイエンスショー」、その他にも、体験プログラムや環境活動団体ブースを出展し、2日間で約2,800名の方々に御来館いただきました!!



第8回福島県環境創造シンポジウム



オープンキャンパス



サイエンスショー



オープンキャンパスでは、4コースに分かれて3ブースずつセンター施設内をまわってもらいました! 参加者の中には全コースに参加された方もいました!!

オープンキャンパス参加者の方からは、「見るだけでなく触ったり調べたり体験もできて勉強になった!」「どのテーマも興味深くワクワクした!」「来年もまた参加したい!」などのコメントをいただきました。

Commutan Science Talk

コミュタンサイエンストーク



環境創造センターがどのような研究を行っているのか?

研究者が分かりやすく伝えるコミュタンサイエンストークを郡山女子大学短期大学部地域創成学科の1年生を対象に開催しました。

県の研究員からは「福島県の除染のあゆみ」、国立環境研究所の研究員からは「原発事故後の避難指示と解除による生物・生態系の変化」についてお話ししました。

会津学鳳中学校で三機関連携講座を開催しました!

11月19日(火)に県及び日本原子力研究開発機構(JAEA)が、県立会津学鳳中学校の全校生を対象に出張講座を開催しました。



JAEA職員を講師に、放射線、ふくしまの環境を取り戻すために行われてきた取組及び今後解決していかなければならない課題等について講座を行いました。質疑応答では積極的に質問をする生徒の姿があり、今後、本県の将来を担う中学生が、ふくしまの環境や未来に対する意識を高める良い機会となりました。

県内大学生にIAEA職員が講義を開催!

11月19日、20日、23日の3日間、国際原子力機関(IAEA)の職員が、福島大学、東日本国際大学の学生等に講義を行いました。

本県とIAEAがこれまで10年間にわたり協力して実施してきたプロジェクトの研究成果等を踏まえた講義を通し、放射線やふくしまの環境の現状について、改めて理解を深める貴重な機会となりました。



東日本大震災から5000日が経過しました

2024年11月17日(日)14時46分、東北地方太平洋沖地震の発生から5000日が経過しました。

コミュタン福島では、学びや体験から得た知識を、子どもたち、県民や様々な団体が共有し、それぞれの立場からふくしまの未来を考え、創り、発信するきっかけとなる場を目指し歩んできました。

このことを改めて深く胸に刻み、これからも、ふくしまの歩みやいま、そして、ふくしまの未来について、国内外にしっかりと伝えてまいります。



理科自由研究発表会 atコミュタン福島を開催!

福島県小学校理科作品展で優秀な成績を修めた児童53名が、夏休みに取り組んだ自由研究の成果をポスターにまとめ、11月30日、12月1日の両日に口頭発表しました。



発表後に行われたポスターセッションでは、学年の垣根を越えて、お互いの研究の気になったところを質問したり良かったところを褒めあったりと若き研究者達にとって貴重な時間になったようです。

国立科学博物館 巡回展 WHO ARE WE 観察と発見の生物学 を開催中!

テーマは「観察の眼、発見の芽」

「ヨシモトコレクション」を中心に選りすぐりの哺乳類の剥製などを展示します!

開催期間
2025年
1月24日(金)まで
場所
コミュタン福島
1階 会議室



環境創造センターでは、福島県の環境回復・創造に向けて、「放射線計測」、「除染・廃棄物」、「環境動態」、「環境創造」の4つの部門に分かれて、日々研究を行っています。今回は環境創造部門のうち、情報・脱炭素グループの研究について紹介します。

気候変動による経済的な被害をわかりやすく可視化

- ▶▶ 福島県では気候変動に対する適応策の推進に向けて、自然災害（洪水）が産業・経済活動に与える影響の予測に取り組んでいます。
- ▶▶ 自然災害が発生すると、家屋の損壊のように目に見える直接被害だけでなく、経済活動や設備投資の停滞のような目に見えにくい間接被害も生じることが分かっています。
- ▶▶ 県内の統計データから経済モデルを構築し、将来の気候変動によって生じる経済被害の大きさや影響を受けやすい産業をシミュレーションによって明らかにしました。

直接被害

- リスクの高まる地域はシナリオ、年期により徐々に拡大しています。

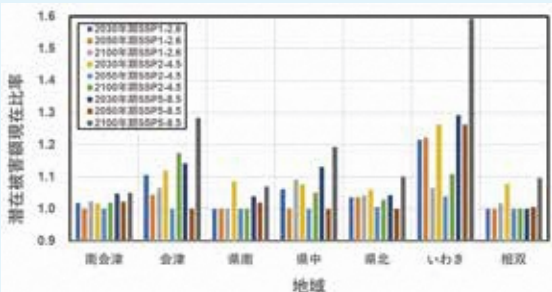


図 福島県内の潜在洪水被害額の変動
出典：福島大学 福島県の気候変動とその影響の予測(令和5年3月)

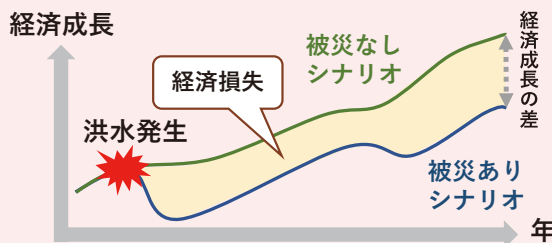
生産・消費活動へ波及

間接被害



シミュレーションの概要

- 気候変動が進んで洪水被害が生じたシナリオの経済成長と、気候変動を抑えて洪水被害が生じなかったシナリオの経済成長を、それぞれシミュレーションで推計しました。



福島県環境創造センター

福島県の環境回復・創造に向けた「モニタリング」、「調査研究」、「情報収集・発信」、「教育・研修・交流」の業務を行っています。環境創造センターホームページより、県内市町村の空間線量、大気環境等のモニタリング情報を御覧いただけます。



福島県環境創造センター交流棟「コミュタン福島」

TEL.0247-61-5721 FAX.0247-61-5727

入場無料

- 開館時間 9:00~17:00
- 休館日 毎週月曜(月曜が祝日の場合、翌平日)・12月29日~1月3日
- ホームページ <https://com-fukushima.jp/>



車をご利用の場合 磐越自動車道船引三春ICより約5分

電車をご利用の場合 JR磐越東線三春駅より車で約12分

三春町町営バスをご利用の場合 三春駅~環境創造センター(コミュタン福島)へ(コミュタン福島をご利用の方はバス料金無料) 年末年始(12月31日~1月3日)を除き毎日(1日4便)運行

アクセスMAP

